

令和6年度 第1回 伊東市立八幡野小学校運営協議会

令和6年4月23日 13時20分より 会費室

参加者 関谷会長 稲葉副会長 小田委員 大村委員 太田委員 関川委員
萩原委員 市川委員 平田委員 中西委員
事務局 濱村

1 校長挨拶

- ・令和5年度にコミュニティースクールとなり1年。
- ・新たに4名の方が委員となり、経過について説明。
- ・持続可能な本校に合う形でスタートできた。
- ・子供たちは、サポーターの方々に安心感・あこがれ・親近感を持っている。
- ・学校に関わってくださる方々にコミュニティーの和、地域の中で自己実現を。

2 学校運営協議会委員自己紹介 及び 会長、副会長選出

- ・自己紹介後、昨年度に続き会長に関谷委員、副会長に稲葉委員が決定。
- ・■■委員からは、八幡野区以外の方がよいのでは、との意見が出されたが、■■委員や■■委員から是非にと推され副委員長を受諾。

※傍聴希望者（2名）の入室について許可【会長】

3 協議 【会長】

(1) 学校運営方針（年間行事予定や教育課程等の説明含む）の説明、承認
学校長からの説明に対し質疑応答

【委員】学年団デイが遠足に替わる行事か。

【委員】支援級を不登校等の子供のために開放してはどうか。

【校長】成長のタイミングはそれぞれでよい。子供のありのままを大切にしたい。（学校だより4月号「山の登り方」を例に）でも、勝手ということではない。異なる登り方を否定するのではない。支援級に自然にいきたくなるもの。

【委員】「こうやってみるといいよ。」は、押しつけになっていないか振り返りたい。カリキュラム（学習指導要領）の中で、どれだけ一人一人に応じられるか、登校していない子の本音を聞くようにしたい。

【委員】行事等で友達との関わりを大切にしたい。大人になって祭り・消防・町内等の役員決め等をみていると、小中学校のころの関わりが大切になっている。

【委員】縦のつながりを作りたい。

→ 学校運営方針について議決・承認

(2) サポーターの活動について

【コーディネーター】子供たちのためにできることはないか。見守り隊、少しでも役に立っているかな。応援者が欲しい。

【コーディネーター】ビブスの紹介。昨年度、発足の際、区長会に出向きサポーター募集のチラシをまいた。八幡野区以外にも協力していただけたら有り難い。

質疑応答

【委員】自分の家の前でも見守りをやることができれば、サポーターの人数は増えるか。高齢者は「〇時に〇をする」という、時間を決めて人と関わることがよいらしい。

【委員】あさって広報というの回覧にチラシを入れたい。

【委員】旭館前とかも場所に入れるとよいか。

【委員】チーム大室がある。参加自由度が高い方が多い。「ここに今いる楽しみを増やすことに力を貸してください」呼びかけてみます。

【委員】アピールが大切。

【委員】大人が楽しそうなことが大切。大変良い機会をいただいた。マッチングできたら嬉しい。

【委員】地域に移住したい人を増やしたい。

【委員】八幡野小でこれまで行っていた『朝の読み聞かせ』と『図書ボランティア（図書整備）』に、『水曜のロング昼休みに図書の貸し出しをする（R5年度14回）』が加わった。本の好きな大人が地域には多い。ロング昼休みの図書の貸出に、先生でも親でもない大人との関わりがあったら嬉しい。

※傍聴人（2名）退出

4 閉会の言葉【副会長】

・学校を中心に地域も育っていきましょう。